TSUKADA GLOBAL HOLDINGS

2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　株式会社ツカダ・グローバルホールディング　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2418　　URL　https://www.tsukada-global.holdings
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　塚田正之
問合せ先責任者　（役職名）　財務経理部長　　（氏名）　山崎誠広　　(TEL) 03-5464-0081

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	53,892	9.7	3,960	10.5	3,003	66.4	2,260	△42.7
2025年12月期第３四半期	49,113	14.8	3,585	34.0	1,805	△24.0	3,945	71.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　2,642百万円（△26.8％）　2025年12月期第３四半期　3,610百万円（113.4％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	47.98	ー
2025年12月期第３四半期	83.22	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	141,499	40,605	27.0
2025年12月期	140,138	39,792	26.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　38,154百万円　　2025年12月期　37,212百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	6.00	ー	6.00	12.00
2026年12月期	ー	7.00	ー		
2026年12月期(予想)				7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,797	6.4	10,095	5.8	8,814	17.6	6,014	26.1	127.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　１社（社名）Tsukada Property Investment LP

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	48,960,000株	2025年12月期	48,960,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,916,234株	2025年12月期	1,613,534株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	47,107,922株	2025年12月期３Ｑ	47,406,688株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

当社は2026年２月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得を考慮して記載しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10
（収益認識関係） …… 11
３．補足情報 …… 11
（施行及び受注の状況） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費の持ち直し、また、雇用情勢に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費者物価及び金利の上昇並びに中東情勢の影響など、先行きについては不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス＆リラクゼーション（W＆R）市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

ホテル事業においては、訪日外国人数が2026年９月推計値で累計３千万人（前年同四半期比2.9%減：日本政府観光局「訪日外客数(2026年９月推計値)」）と台風による天候不順及び航空機の減便などの影響により昨年同期比で減少したものの、引き続き高い水準で推移しております。この影響から「ホテル　インターコンチネンタル　東京ベイ」（東京都港区）、「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」（東京都品川区）及び「キンプトン新宿東京」（東京都新宿区）の国内ラグジュアリーホテルは引き続き安定した状況で推移いたしました。また、米国に開業しておりますホテル３施設につきましては、更なるレベニューマネジメント及びコストコントロールを実施し収益力向上に努めました。

婚礼事業においては、施行件数5,828件（同8.4%減）、受注件数6,943件（同0.9%減）と店舗閉鎖及び大規模改修による休館により減少となりましたが、施行単価においては引き続き緩やかに回復しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、53,892百万円（同9.7%増）となり、利益面につきましては、営業利益が3,960百万円（同10.5%増）、営業外費用において前年同四半期に計上いたしました為替差損610百万円が当期においては為替差益56百万円となったことから経常利益は3,003百万円（同66.4%増）となりました。また、前年同四半期の特別利益において段階取得に係る差益1,259百万円及び負ののれん発生益1,695百万円の計上があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,260百万円（同42.7%減）となりました。

（連結損益計算書）

	2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率
売上高(百万円)	49,113	53,892	4,779	9.7%
営業利益(百万円)	3,585	3,960	375	10.5%
経常利益(百万円)	1,805	3,003	1,198	66.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	3,945	2,260	△1,684	△42.7%
１株当たり四半期純利益(円)	83.22	47.98	△35.24	△42.3%

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第３四半期連結累計期間においては、婚礼施行単価については引き続き緩やかに回復しておりますが、店舗閉鎖及び大規模改修による休館等により婚礼施行件数が5,828件（同8.4%減）と減少したことから売上高は減少いたしました。利益面においては、施行件数の減少並びに人件費、エネルギーコスト及び原材料価格の上昇等の影響により減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は25,293百万円（同2.2%減）、セグメント利益は2,709百万円（同13.7%減）となりました。

② ホテル事業

当第３四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼施行件数が1,104件（同2.1%増）と微増となり、また、昨年取得した「W Hotel Dallas Victory」（米国テキサス州）及び「ＡＮＡホリデイ・イン東京ベイ」（東京都品川区）の売上寄与並びに「ホテル　インターコンチネンタル　東京ベイ」（東京都港区）をはじめとする国内ラグジュアリーホテルにおいては、訪日外国人数が高い水準で推移していることから宿泊稼働率及び宿泊単価が堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は26,329百万円（同25.1%増）、セグメント利益は3,152百万円（同56.4%増）となりました。

③ W&Ｒ事業

当第３四半期連結累計期間においては、英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」については引き続き厳しい状況にありますが、複合温浴施設「美楽温泉SPA-HERBS」の来館者数及び飲食売上高が堅調に推移したことにより売上高及びセグメント利益は微増となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,257百万円（同2.6%増）、セグメント利益は150百万円（同26.1%増）となりました。

（セグメントの状況）

		2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率
売上高(百万円)		49,113	53,892	4,779	9.7%
	婚礼事業	25,866	25,293	△573	△2.2%
	ホテル事業	21,045	26,329	5,283	25.1%
	W&Ｒ事業	2,200	2,257	56	2.6%
	全社売上	－	13	13	－
セグメント利益(百万円)		3,585	3,960	375	10.5%
	婚礼事業	3,140	2,709	△430	△13.7%
	ホテル事業	2,015	3,152	1,137	56.4%
	W&Ｒ事業	119	150	31	26.1%
	全社費用他	△1,689	△2,051	△361	－

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ1,361百万円増加して、141,499百万円となりました。これは主に、設備投資や納税の影響により現金及び預金が5,955百万円減少しましたが、有形固定資産において建設仮勘定が2,935百万円及び土地が1,573百万円、また、投資その他の資産において投資有価証券が1,130百万円及びその他が2,428百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ549百万円増加して、100,894百万円となりました。これは主に、納税により未払法人税が899百万円及び償還により社債（１年内含む）が501百万円それぞれ減少しましたが、前受金が1,905百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ812百万円増加して、40,605百万円となりました。これは主に、資本剰余金が634百万円減少しましたが、利益剰余金が1,226百万円及び繰延ヘッジ損益が406百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（連結貸借対照表）

	2025年12月期末	2026年12月期 第３四半期末	増減額	増減率
資産合計(百万円)	140,138	141,499	1,361	1.0%
流動資産	34,150	28,275	△5,874	△17.2%
固定資産	105,766	113,034	7,268	6.9%
繰延資産	221	189	△31	△14.4%
負債合計(百万円)	100,345	100,894	549	0.5%
流動負債	24,695	24,949	253	1.0%
固定負債	75,649	75,945	295	0.4%
純資産合計(百万円)	39,792	40,605	812	2.0%

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月10日付け「2026年12月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,991	22,035
売掛金	2,745	2,345
商品	173	185
原材料及び貯蔵品	565	659
その他	2,714	3,080
貸倒引当金	△40	△31
流動資産合計	34,150	28,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,999	54,991
土地	29,711	31,284
建設仮勘定	1,010	3,946
その他（純額）	2,706	3,062
有形固定資産合計	89,428	93,284
無形固定資産		
のれん	523	384
その他	807	802
無形固定資産合計	1,330	1,187
投資その他の資産		
投資有価証券	1,432	2,563
関係会社出資金	1,153	1,309
敷金及び保証金	6,907	6,747
その他	5,655	8,083
貸倒引当金	△140	△140
投資その他の資産合計	15,007	18,562
固定資産合計	105,766	113,034
繰延資産	221	189
資産合計	140,138	141,499

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,510	2,978
1年内返済予定の長期借入金	10,915	10,177
1年内償還予定の社債	753	528
未払法人税等	1,235	336
前受金	3,928	5,833
その他	5,351	5,093
流動負債合計	24,695	24,949
固定負債		
社債	7,706	7,429
長期借入金	58,346	58,702
退職給付に係る負債	443	434
役員退職慰労引当金	1,096	1,282
資産除去債務	4,594	4,616
その他	3,463	3,480
固定負債合計	75,649	75,945
負債合計	100,345	100,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	－
利益剰余金	35,262	36,489
自己株式	△1,092	△1,292
株主資本合計	35,276	35,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	6
繰延ヘッジ損益	820	1,226
為替換算調整勘定	1,115	1,251
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	1,936	2,485
非支配株主持分	2,580	2,451
純資産合計	39,792	40,605
負債純資産合計	140,138	141,499

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	49,113	53,892
売上原価	30,220	32,601
売上総利益	18,892	21,290
販売費及び一般管理費	15,307	17,330
営業利益	3,585	3,960
営業外収益		
受取利息	94	124
匿名組合投資利益	155	156
為替差益	－	56
その他	246	53
営業外収益合計	496	391
営業外費用		
支払利息	1,018	1,290
為替差損	610	－
その他	648	58
営業外費用合計	2,276	1,348
経常利益	1,805	3,003
特別利益		
受取補償金	－	124
固定資産売却益	4	1
段階取得に係る差益	1,259	－
負ののれん発生益	1,695	－
その他	23	－
特別利益合計	2,984	125
特別損失		
固定資産除却損	4	12
店舗閉鎖損失	34	25
店舗閉鎖損失引当金繰入額	114	－
その他	1	2
特別損失合計	153	41
税金等調整前四半期純利益	4,635	3,087
法人税等	831	988
四半期純利益	3,803	2,099
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△141	△161
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,945	2,260

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	3,803	2,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	6
繰延ヘッジ損益	295	406
為替換算調整勘定	△489	129
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△193	543
四半期包括利益	3,610	2,642
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,824	2,810
非支配株主に係る四半期包括利益	△214	△167

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（簡便な会計処理）

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	2,905百万円	3,493百万円
のれんの償却額	204	138

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	25,745	21,045	2,200	48,991	－	48,991
その他の収益	121	－	－	121	－	121
外部顧客への売上高	25,866	21,045	2,200	49,113	－	49,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,441	614	5	2,061	△2,061	－
計	27,308	21,660	2,206	51,174	△2,061	49,113
セグメント利益	3,140	2,015	119	5,274	△1,689	3,585

(注)　１．セグメント利益の調整額△1,689百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,726百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ホテル事業」において、Victory Hotel Dunhill HN Investors LLC及びその子会社Victory Hotel Dunhill HN Mezz LLC、Victory Hotel Dunhill HN LLCの出資持分を追加取得したため、中間連結会計期間より、連結の範囲に含めております。これに伴い、負ののれん発生益として1,695百万円計上しております。なお、負ののれん発生益の金額は、中間連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は、特別利益であるためセグメント利益には含めておりません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１、２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	25,113	26,329	2,257	53,699	－	53,699
その他の収益	179	－	－	179	13	192
外部顧客への売上高	25,293	26,329	2,257	53,879	13	53,892
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,564	600	7	2,171	△2,171	－
計	26,857	26,929	2,264	56,050	△2,158	53,892
セグメント利益	2,709	3,152	150	6,012	△2,051	3,960

(注)　１．外部顧客への売上高の調整額13百万円は、各報告セグメントに帰属しない売上高であります。

２．セグメント利益の調整額△2,051百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,084百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

３．補足情報

（施行及び受注の状況）

（１）婚礼施行実績

期別	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）	前連結会計年度 （自　2025年１月１日 至　2025年12月31日）
セグメントの名称	施行件数（件）	施行件数（件）	施行件数（件）
婚礼事業	6,364	5,828	9,387
ホテル事業	1,081	1,104	1,612
合計	7,445	6,932	10,999

（２）婚礼受注状況

期別	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）		当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）		前連結会計年度 （自　2025年１月１日 至　2025年12月31日）	
セグメントの名称	受注件数 （件）	受注件数残高 （件）	受注件数 （件）	受注件数残高 （件）	受注件数 （件）	受注件数残高 （件）
婚礼事業	7,009	6,819	6,943	6,782	8,880	5,667
ホテル事業	1,290	1,393	1,223	1,348	1,657	1,229
合計	8,299	8,212	8,166	8,130	10,537	6,896